法人協訓會

諸意をいつて安協を開始せとする事は吾等も又互譲の精神を持ちて安協に應ずる考へである。第一の意見は就ては今後に於ける當燈の大等の事に関して郡民需要の[illegible]に行なを抱かしいからや[illegible]に対しては二問題は[illegible]大[illegible]に[illegible]を[illegible]る[illegible]今後会社の執る態度及び手段如何に依ては[illegible]を許さざるものである

右謹しんでお答へす、

四日 伊原[illegible]南洲、[illegible]に由って社員[illegible]

四度び社員諸君に告ぐ

勇敢なる社員諸子!!

一貫唯々諾。從來鐵石膽。貧居生傑士。勳業顯多難。
堪雪梅花潔。經霜楓葉丹。若能知天意。豈敢自求安。

嗚呼是れ大南洲の述懷に非ずや。諸子よ、難局に處し。鐵の如き堅き意思を以て事に當り。氷の如き冷やかなる態度を以て任に就き。斷々乎として屈するなく。撓むなく。所信を遂行し。主張を貫徹するこそ。日本男子の眞骨頂にして。諸子が興廢如何は。當に懸て那郡將來に對する、一大試練たらずんばあらず。然り諸子自重せよ、自重せよ。何處迄も堅固に。何處迄も熱心に。諸子が貴き義務心を把持し。我社當局に信頼し。磐石の上に立つが如く安心して働け。天は安逸を求むるものに與せず。

勇敢なる社員諸子!!

大正十五年六月四日

伊原五郎兵衛